EPSON

EMP NS Connection

（Macintosh版）

操作説明書

説明書中の表示の意味

一般情報に関する表示

	プロジェクターの故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
⏩	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「用語解説」をご覧ください。☛ p. 34
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
［(表記名)］	操作パネルまたはリモコンのボタン、プロジェクターの入出力端子を示しています。 例：［ESC］
「(メニュー名)」	画面に表示されているボタンやメニュー名を示しています。 例：「OK」
	次ページに説明が続くことを示しています。

「本機」または「プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」「プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

ネットワーク接続する....4
　接続までの流れ....4
　コンピュータの接続設定....4
　コンピュータとの接続....5
ツールバーの使い方....11
　各アイコンの名称と働き....11
　E ズーム....13
　基本設定....14
ネットワーク接続を切断する....15
　コンピュータから切断する....15
　プロジェクターから切断する....15
接続したいプロジェクターが表示されないときは....16
　IP アドレスを指定して接続....16
　グループを作成して接続....21
データを暗号化して通信したいときは....31
用語解説....34
索引....35

ネットワーク接続する

ここでは、ネットワーク経由でコンピュータと接続し、投写するまでの手順を説明します。

接続までの流れ

次の手順で映像を投写します

1. プロジェクター側で接続モードの設定をします。☛『セットアップガイド』（簡単接続モード、アクセスポイントモード、有線 LAN 接続モード）
2. コンピュータ側で接続設定をします。☛ p.4
3. EMP NS Connection（接続ソフトウェア）で接続し、映像を投写します。☛ p.5

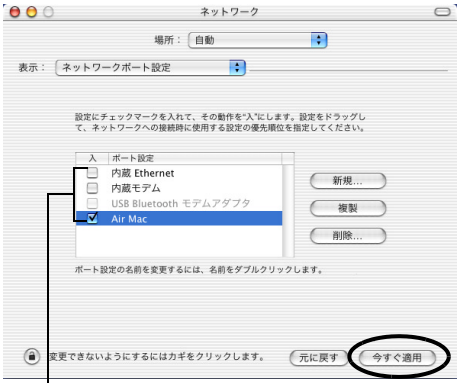
コンピュータの接続設定

ここでは接続するポートの設定について説明します。
ポートの詳細設定（ネットワークの設定）についてはコンピュータ、AirMac カードの各取扱説明書をご覧ください。

操作

1 **アップルメニューから「システム環境設定」ー「ネットワーク」を選択します。**
ネットワーク設定画面が表示されます。

2 **「ポート設定」で使用するポート 1 つにチェックマークを付け、「今すぐ適用」をクリックします。**



使用するポート 1 つにチェックマークを付けます

»➡

ポイント 「場所」を設定すると、目的の場所を選んで、すべてのネットワーク設定を1度に切り替えることができます

3 画面を閉じます。

ポイント
- 「ネットワークポート設定」では、必ず、使用するポート1つのみチェックマークを付けて、他のポートはチェックマークを外しておいてください。複数のポートにチェックマークを付けると、意図しないネットワークにつながってしまう場合があります。
- 使用するコンピュータの画面解像度を XGA かそれ以下、色数設定を約32000 色にしておくと最適なパフォーマンスでお使いになれます。

プロジェクター側で「ESSID 指定アドホック▶▶」に設定した場合は、コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックします。表示されるプルダウンメニューで、プロジェクターの ESSID 名を選択してください。

ポイント 「チャンネル▶▶指定アドホック」は Windows のみ対応しています。

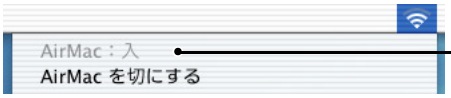
コンピュータとの接続

接続設定が完了したら、コンピュータで EMP NS Connection を起動し、プロジェクターと接続します。一度接続設定を行えば、以降はこの接続操作から始められます。
接続する前に以下の準備をしてください。
設定方法は『セットアップガイド』を参照してください
- プロジェクターの電源を入れておいてください。
- プロジェクターのカードスロットに LAN カードをセットしておいてください。
- 簡単接続モード、アクセスポイントモード、有線 LAN 接続モードのいずれかの設定をしておいてください。
- 使用するコンピュータには EMP NS Connection をインストールしておいてください。

▶▶

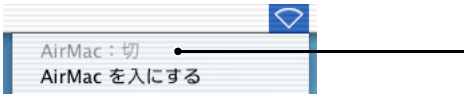
操作

1 **使用する LAN によって以下を確認してください。**
AirMac カード(無線 LAN)を使用する場合は、コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックし、次のように表示されていることを確認してください。



AirMac:入
無線 LAN に接続できます

有線LAN接続モードを使用する場合は、必ずコンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックし、次のように表示されていることを確認してください。「AirMac:切」になっていないと、意図しないネットワークにつながってしまう場合があります。



AirMac:切
無線 LAN には接続しません

ポイント
切り替え方法は、アイコンをクリックして「Air Mac を入にする」または「Air Mac を切にする」を選択します。

2 **EMP NS Connection をインストールしたハードディスクボリュームから「アプリケーション」フォルダをダブルクリックし、EMP NS Connection アイコンをダブルクリックします。**
EMP NS Connection が起動します。

ポイント
インストール時に EMP NS Connection のインストール先を変更した場合は、そのインストール先にある EMP NS Connection のアイコンをダブルクリックします。

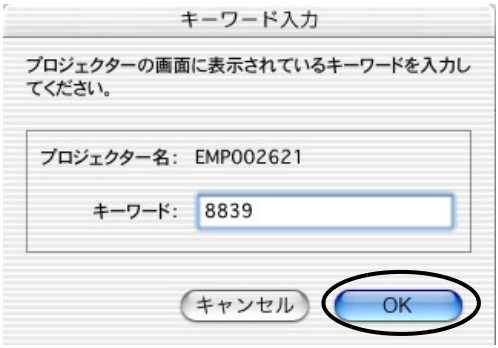
3 **接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンをクリックします。**
プロジェクター名は、プロジェクターの接続待機画面に表示されています。

アイコンの色によって以下のように状態が異なります。
グレー　:未接続
オレンジ:他のコンピュータと接続中

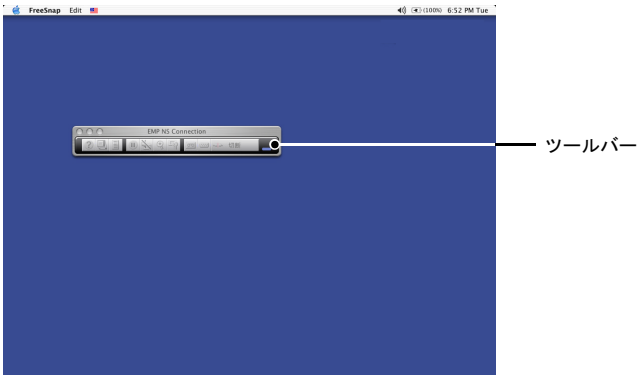
ポイント

- 使用するネットワークを変更したい場合は「拡張機能」ボタンをクリックします。表示された拡張機能画面で「ネットワーク設定」ボタンをクリックするとコンピュータのネットワーク設定画面が表示されます。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、自動的に先に接続していたコンピュータを切断し、後から接続したコンピュータの映像を投写します。
- 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像を複数のプロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大 4 台までです。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

4 「プロジェクターキーワード」を「ON」に設定した場合は、プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。



5 コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。



コンピュータの画面には、EMP NS Connection のツールバーが表示されます。このツールバーを使って、プロジェクターの操作や設定をしたり、ネットワーク接続を切断したりできます。☛p.11
プレゼンテーションを行う際にツールバーが不都合になる場合は、ツールバーを最小化することができます。この場合は、リモコンでプロジェクターの操作や設定を行います。☛『取扱説明書』
投写映像の調整や各機能についてはプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

ポイント

プレゼンテーターの交代など、引き続き別のコンピュータから接続する場合は、接続したいコンピュータで EMP NS Connection を起動して接続してください。接続中のコンピュータとの接続が自動的に切断され、後から接続しようとしたコンピュータと接続します。

接続時の制限事項

Network Screen でコンピュータの映像を投写するときは、以下の制限事項があります。ご確認ください。

対応解像度

投写可能なコンピュータの画面解像度は、次のとおりです。次の解像度の場合は、コンピュータに表示されている映像をそのまま投写できます。UXGA を超える解像度のコンピュータとは接続できません。

- VGA（640 × 480）
- SVGA（800 × 600）
- XGA（1024 × 768）
- SXGA（1280 × 960）
- SXGA（1280 × 1024）
- SXGA+（1400 × 1050）
- UXGA（1600 × 1200）

コンピュータの解像度が XGA を超えると、以下のメッセージが表示されます。

> パソコンのディスプレイの解像度が、XGA（1024 × 768pixel）より大きい場合、またはディスプレイ表示色が 32 ビット以上の場合は画面転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？

「OK」をクリックすると接続しますが、表示速度は遅くなります。

また、以下のメッセージが表示された場合は、コンピュータの解像度を SXGA 以下に設定してから接続してください。

> SXGA を超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。パソコンの解像度を下げて再接続してください。

1280 × 600 など、縦横比が特殊な画面のコンピュータの場合は、前述の対応解像度 7 種類のうちから横方向の画素数が一致する解像度で投写されます。このとき、縦方向の余白部分は黒く投写されます。

表示色

投写可能なコンピュータの画面の色数は、次のとおりです。

- 約 32000 色（16 ビット）
- 約 1670 万色（32 ビット）

ただし、32 ビットカラーに設定している場合は、以下のメッセージが表示されます。

> パソコンのディスプレイの解像度が、XGA（1024 × 768pixel）より大きい場合、またはディスプレイ表示色が 32 ビット以上の場合は画面転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？

「OK」をクリックすると接続しますが、パフォーマンスは下がります。

接続台数

1 台のコンピュータに、最大 4 台までのプロジェクターを接続して同時に映像を投写できます。

複数のコンピュータから 1 台のプロジェクターに同時に接続することはできません。

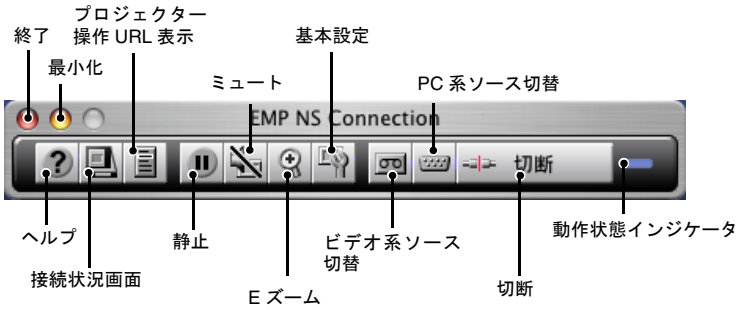
その他

- 無線 LAN の通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態となり、予期しないときに切断されることがあります。
- 音声は伝送されません。
- 動画を再生する場合、コンピュータ上で再生した場合と比べて、スムーズに再生されません。
- Mac OS X 10.2.X の仕様上の制限により、全画面表示が投写できないことがあります。例えば、プレゼンテーションソフトウェアである Keynote でスライドショーの再生を実行すると、画面が正しく表示されません。

ツールバーの使い方

各アイコンの名称と働き

コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続すると、次のツールバーがコンピュータの画面に表示されます。



各アイコンの働きは以下のとおりです。

	ヘルプ	EMP NS Connection のヘルプを表示します。
	接続状況画面	クリックするたびに、接続状況画面の表示 / 非表示を切り替えます。接続状況画面を表示すると、現在接続しているプロジェクター名のアイコンが緑に表示されています。接続状況画面では、接続切り替えや追加して接続するなどの操作はできません。
	プロジェクター操作 URL 表示	EasyWeb が表示されます。 ☛『活用ガイド』
	静止	映像を一時停止します。 動画の場合は、停止している間もコンピュータ側の映像は進んでいるため、停止したときの場面からは再開できません。
	ミュート	映像と音声を一時的に消します。 例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、見ている人に操作内容を表示したくない場合に使用すると便利です。ただし、動画の場合は消している間もコンピュータ側の映像は進んでいるため、消したときの場面からは再開できません。
	E ズーム	投写サイズを変えずに、見たい部分を拡大します。設定画面を表示して、位置や倍率を設定できます。 ☛ p.13

»➡

	基本設定	設定画面を表示して、明るさ、台形補正、コントラスト、カラーモードを設定できます。☛ p.14
	ビデオ系ソース切替	アイコンをクリックするたびに、プロジェクターで投写する入力信号を、切り替えます。 複数台のプロジェクターに接続しているときは使用できません。
	PC 系ソース切替	アイコンをクリックするたびに、プロジェクターで投写する入力信号を切り替えます。 複数台のプロジェクターに接続しているときは使用できません。
	切断	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を切断します。
	動作状態インジケータ	コンピュータとプロジェクターがネットワーク接続しているときに、上、中、下の各インジケータが交互に点滅します。正しく接続できていないときは消灯しています。
	終了	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を切断し、EMP NS Connection を終了します。
	最小化	ツールバーが最小化されます。

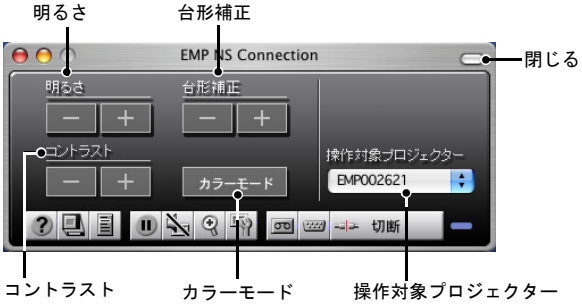
E ズーム

「E ズーム」アイコンをクリックすると、次の設定画面が表示され、ズーム倍率や位置などの調整ができます。

E ズーム	E ズームの倍率を調整します。 「＋」ボタン:拡大する 「－」ボタン:拡大した結果を縮小する
位置	拡大 / 縮小表示する部分を指定します。 プロジェクター本体の E ズーム機能で、ターゲットスコープを移動して拡大や縮小をする部分を指定する機能と同じです。
ズームキャンセル	E ズームを解除して元の表示に戻ります。
操作対象プロジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示しています。 複数のプロジェクターに接続している場合は、E ズームの操作をするプロジェクターを選択します。
閉じる	この画面を閉じます。

基本設定

「基本設定」アイコンをクリックすると、次の設定画面が表示され、明るさ、台形補正、コントラスト、カラーモードの調整ができます。



明るさ	投写映像の明るさを調整します。 「＋」ボタン:明るくなる 「－」ボタン:暗くなる
台形補正	「＋」ボタン:上辺が狭くなる 「－」ボタン:底辺が狭くなる
コントラスト	画面の明暗の差を調整します。 「＋」ボタン:明暗の差が大きくなる 「－」ボタン:明暗の差が小さくなる
カラーモード	映像の特徴に合わせた次の 5 種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。「カラーモード」ボタンをクリックするたびに、設定が切り替わります。
操作対象プロジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示しています。複数のプロジェクターに接続している場合は、基本設定を行うプロジェクターを選択します。
閉じる	この画面を閉じます。

ポイント

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛『取扱説明書』
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界に達したことを示しています。プロジェクターを制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

ネットワーク接続を切断する

コンピュータとプロジェクターのネットワークを介した接続を切断するには、コンピュータから切断する方法と、プロジェクターで切断する方法の 2 つがあります。

ポイント
投写しているコンピュータの映像は、本プロジェクターには保存されません。下記のいずれかの操作で切断を行うと、内部の映像データはすべて破棄されます。

コンピュータから切断する

ツールバーで、「切断」または「終了」のアイコンをクリックします。

「切断」アイコンをクリックすると、ネットワーク接続の切断のみを行います。
「終了」アイコンをクリックすると、ネットワーク接続を切断して EMP NS Connection を終了します。

ポイント
複数台のプロジェクターと接続しているコンピュータで切断の操作をすると、すべてのプロジェクターとの接続が切断されます。

プロジェクターから切断する

操作

1 リモコンの[戻る]ボタンを押します。
終了メニューが表示されます。

2 「終了する」ボタンを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。
切断するコンピュータの画面に「ネットワークスクリーンはプロジェクター側から切断されました。」と表示されます。

接続したいプロジェクターが表示されないときは

接続したいプロジェクターが EMP NS Connection のプロジェクター選択画面に表示されない場合は、次の点を確認してください。

- 無線 LAN 接続の場合、電波が届かない、あるいは弱くありませんか？
- 接続モードを正しく設定していますか？
- サブネットが異なっていませんか？

簡単接続モードの場合は、次の点も確認してください。

- コンピュータ側で使用しているネットワーク名が、プロジェクター側の ESSID▶▶と同じ名称になっていますか？

サブネットが異なるネットワーク上のプロジェクターに接続する場合は、「IP 指定接続モード」を使うと接続できます。IP 指定接続モードは、接続したいプロジェクターの IP アドレス▶▶を指定して接続する方法です。

IP アドレスを指定して接続

次の手順で、IP 指定接続モードの接続をします。

ポイント

プロジェクターの IP アドレスと、コンピュータの IP アドレスが異なるサブネットに所属していた場合、EMP NS Connection のプロジェクター選択画面にプロジェクター名が表示されません。

注意

- EasyMP動作中（画面が切り替わったり、無線LANカードのアクセスランプが緑色に点灯中など）は、電源ケーブルを抜かないでください。
- 無線 LAN カードのアクセスランプが緑色に点灯しているときや、ネットワーク接続中は、無線 LAN カードを取り出さないでください。無線 LAN カードが壊れることがあります。
- 有線LANカードのアクセスランプについてはご使用の有線LANカードの『取扱説明書』をご覧ください。

操作

1 アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで、プロジェクターとコンピュータの接続設定をします。

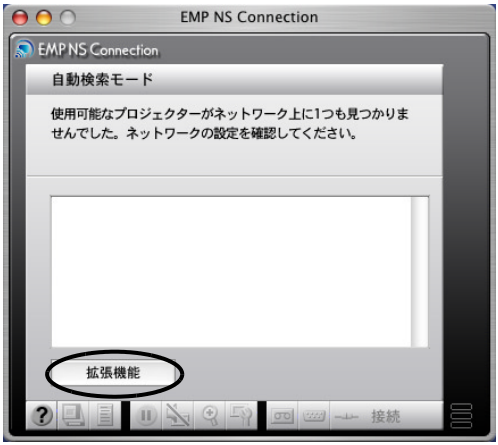
2 EMP NS Connection をインストールしたハードディスクボリュームから「アプリケーション」フォルダをダブルクリックし、EMP NS Connection アイコンをダブルクリックします。
EMP NS Connection が起動します。

▶▶

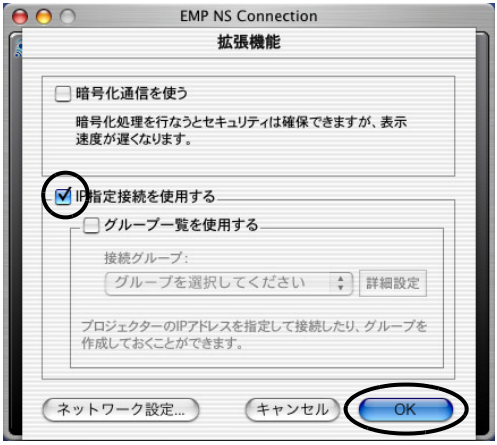
ポイント

インストール時に EMP NS Connection のインストール先を変更した場合は、そのインストール先にある EMP NS Connection のアイコンをダブルクリックします。

3 次の画面で、「拡張機能」ボタンをクリックします。



4 拡張機能画面が表示されます。「IP 指定接続を使用する」をクリックしてチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックします。



5 以下の画面が表示されます。画面の右上に表示されている「IP 指定接続」をクリックします。

6 「IP アドレス」に接続したいプロジェクターの IP アドレスを入力し、「検索」ボタンをクリックします。

7 IP アドレスが「登録プロジェクター」に追加され、検索中であることを示すアイコンが表示されます。プロジェクターが見つかると、「登録プロジェクター」にプロジェクター名が表示されます。さらにプロジェクターを検索したい場合は、手順 6 を繰り返します。
検索したプロジェクターは、「登録プロジェクター」に追加されていきます。

アイコンの色と形によって以下のように状態が異なります。

- (グレー)：未接続
- (オレンジ)：他のコンピュータと接続中
- ：現在検索中
- ：検索したが見つからなかったもの

ポイント

- 最大 16 台までプロジェクターを追加できます。17 台以上追加すると、最初に追加したものから削除されます。接続できるプロジェクターの台数は最大 4 台までです。
- EMP NS Connection を終了して次回起動したときは、「登録プロジェクター」に追加したプロジェクターは消去されています。次回以降も同じプロジェクターを表示したい場合は、グループを作成して目的のプロジェクターを登録してください。☛ p.21

8 接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンをクリックします。

ポイント

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、先に接続していたコンピュータを切断し、後から接続したコンピュータの映像を投写します。
- 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像を複数のプロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大 4 台までです。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

グループを作成して接続

EMP NS Connection では最大 16 台までのプロジェクターを 1 つのグループに登録できます。頻繁にネットワーク経由で接続するプロジェクターをグループに登録しておき、接続時にグループを使用すれば、登録されているプロジェクターを簡単に呼び出してすぐに接続することができます。

例えば、全支店にそれぞれネットワーク接続したプロジェクターがある環境で、特定のエリアにある支店のプロジェクターに投写したい場合は、エリア内の支店のプロジェクターを 1 つのグループに登録しておきます。一度グループに登録すれば、接続時にグループを指定するだけで目的の支店のプロジェクターと接続できるため、接続のたびにプロジェクターを 1 つずつ検索する手間を省けます。

グループ情報はファイルへの書き出し(エクスポート)と読み込み(インポート)ができます。ネットワーク管理者が作成しエクスポートしたグループから、必要に応じて接続したいグループをインポートすれば、簡単に目的のプロジェクターと接続できます。

グループの作成

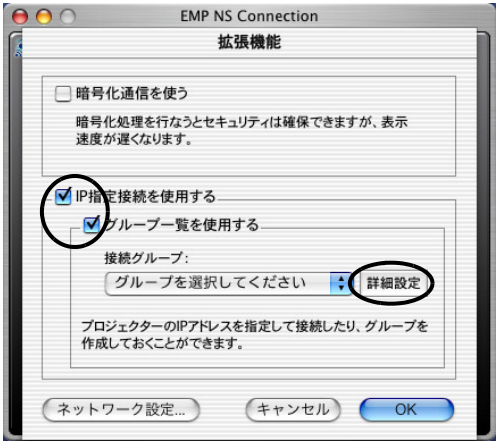
次の手順でグループを作成します。

操作

1 「IP アドレスを指定して接続」の手順 1 ～ 3 を実行します。☛ p.16

»➡

2 拡張機能画面が表示されます。「IP 指定接続を使用する」と「グループ一覧を使用する」をクリックしてチェックマークを付け、「詳細設定」ボタンをクリックします。



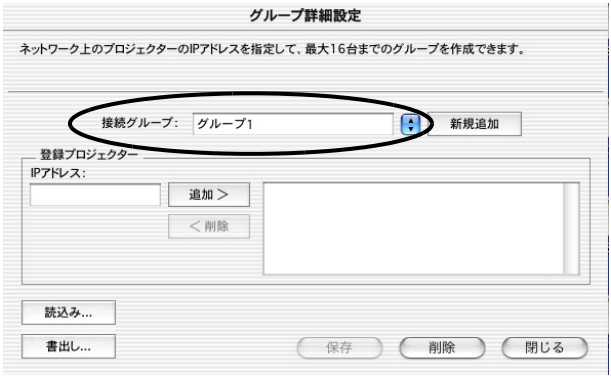
3 グループ詳細設定画面が表示されます。グループを新規作成する場合は「新規追加」をクリックします。

「接続グループ」に「新規グループ」と表示され、「IP アドレス」と登録プロジェクターの一覧が消去されます。

ポイント

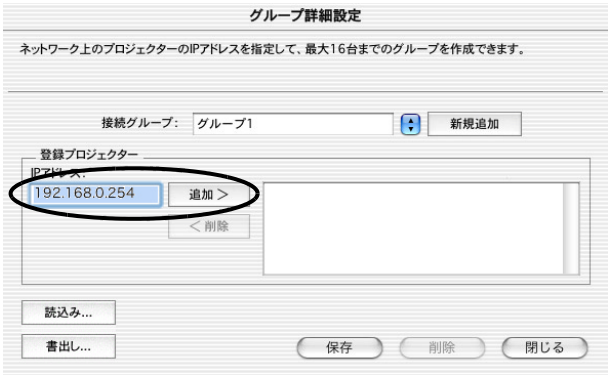
- 既存のグループに登録されているプロジェクターを変更する場合は、「接続グループ」でグループ名を選択し、手順 5 に進みます。
- グループ作成中または編集中に「新規追加」ボタンをクリックすると、「グループの変更内容を保存しますか？保存しないと変更内容は失われます」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると作業中のグループが保存されます。「いいえ」をクリックすると作業中のグループは保存されずに破棄されます。

4 「接続グループ」にグループ名を入力します。



5 「IP アドレス」に登録したいプロジェクターの IP アドレスを入力し、「追加＞」ボタンをクリックします。

アドレスの各フィールドには 0 ～ 255 の数字を入力できます。



ポイント

「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使用できません。

6 IP アドレスが登録プロジェクター一覧に追加され、検索中であることを示すアイコンが表示されます。プロジェクターが見つかると、一覧にプロジェクター名が表示されます。さらにプロジェクターを登録したい場合は、手順 5 を繰り返します。
登録したプロジェクターは、一覧に追加されていきます。

アイコンの色と形によって以下のように状態が異なります。

(グレー):未接続

(オレンジ):他のコンピュータと接続中

:現在検索中

:検索したが見つからなかったもの

ポイント

- 最大 16 台までプロジェクターを追加できます。接続できるプロジェクターの台数は最大 4 台までです。
- 追加したプロジェクターを一覧から削除したい場合は、削除したいプロジェクターを選択して「<削除」ボタンクリックします。

7 登録したいプロジェクターをすべて一覧に追加したら、「保存」ボタンをクリックします。「グループを保存します。よろしいですか？」というメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。
グループが保存されます。
メッセージ画面で「いいえ」ボタンをクリックすると、グループは保存されません。

ポイント 既存のグループを編集して保存する場合や、保存するグループと同じ名前のグループがすでに「接続グループ」にあった場合は、「同一名称のグループが登録されています。内容を更新してよろしいですか？」というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックするとグループを上書き保存します。別名で保存したい場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、グループ詳細設定画面の「接続グループ」でグループ名を入力して「保存」ボタンをクリックしてください。

8 「閉じる」ボタンをクリックします。
グループ詳細設定画面を閉じ、拡張機能画面に戻ります。

ポイント グループを削除したい場合は、グループ設定画面の「接続グループ」で削除したいグループを選択し、「削除」ボタンをクリックします。

グループを使用して接続

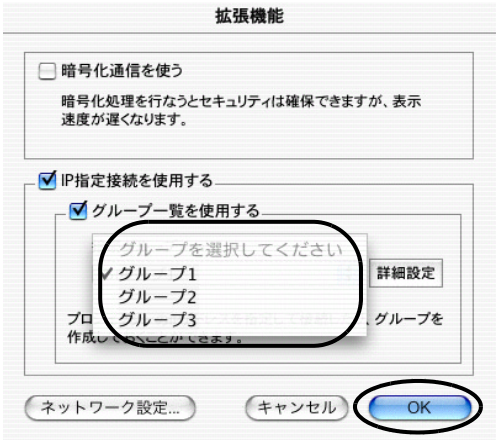
次の手順で、グループに登録したプロジェクターに接続します。
「グループの作成」でグループを作成し、引き続きこの手順を実行する場合は、手順 3 から始めてください。

操作

1 「IP アドレスを指定して接続」の手順 1 ～ 3 を実行します。☛p.16

2 拡張機能画面が表示されます。「IP　指定接続を使用する」と「グループ一覧を使用する」をクリックしてチェックマークを付けます。

3 「接続グループ」で接続したいグループを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



4 以下の画面が表示された場合は、画面の右上に表示されている「IP　指定接続」をクリックします。画面の左上に「IP　指定接続モード」と表示されている場合は、何もせずに手順５に進みます。

5 「登録プロジェクター」に、グループに登録されているプロジェクターが表示されます。接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンをクリックします。
プロジェクター名は、プロジェクターの接続待機画面に表示されています。

アイコンの色と形によって以下のように状態が異なります。

(グレー)　：未接続

(オレンジ)：他のコンピュータと接続中

：現在検索中

：検索したが見つからなかったもの

»

ポイント

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、先に接続していたコンピュータを自動的に切断し、後から接続したコンピュータの映像を投写します。
- 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像を複数のプロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大 4 台までです。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

グループのエクスポート（書出し）

次の手順でグループをエクスポートします。

ポイント

- 「接続グループ」のリストにあるすべてのグループをエクスポートします。特定のグループのみをエクスポートすることはできません。
- グループをエクスポートする前に、最低 1 つはグループを作成して保存しておいてください。☛ p.21
- グループ作成中または編集中は、エクスポートできません。

操作

1 「グループの作成」の手順 1、2 を実行します。☛ p.21

2 「書出し…」ボタンをクリックします。

3 表示された画面で、エクスポート先のフォルダを選択してファイル名を指定し、「保存」ボタンをクリックします。
指定したファイル名でグループがエクスポートされます。

ポイント
- 指定できるファイルの拡張子は「.prgp」のみです。
- エクスポートするグループと同じ名前がすでに「接続グループ」のリストにあった場合、「"xxx.prgp" という名前の項目がすでにこの場所に存在しています。保存しようとしている項目で置き換えますか？」というメッセージが表示されます。「置き換え」ボタンをクリックすると「接続グループ」のリストにあったグループに上書きします。別名で保存する場合、「キャンセル」ボタンをクリックしてファイル名を入力してから「保存」をクリックします。

グループのインポート（読込み）

次の手順でグループをインポートします。

ポイント グループ作成中または編集中は、インポートできません。

操作

1 「グループの作成」の手順 1、2 を実行します。☛p.21

2 グループ詳細設定画面が表示されます。「読込み…」ボタンをクリックします。

➡

3 表示された画面で、インポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

グループがインポートされ、「接続グループ」のリストにインポートしたグループ名が追加されます。

ポイント

- 指定できるファイルの拡張子は「.prgp」のみです。
- インポートするグループと同じ名前のグループがすでに「接続グループ」のリストにあった場合、「読み込む内容に、現在登録されているものと同一名のグループがあります。読み込むグループに変更されますが、続けてよろしいですか？」というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると「接続グループ」のリストにあったグループをインポートしたグループに上書きします。「いいえ」ボタンをクリックすると、グループはインポートされません。

インポートしたグループに登録されたプロジェクターに接続したい場合は、「グループを使用して接続」の手順 3 ～ 5 を実行してください。☛ p.26

データを暗号化して通信したいときは

ネットワークを介して接続したコンピュータの映像をプロジェクターで投写する際に、その映像のデータを暗号化して通信することができます。データを暗号化すると、セキュリティが確保されます。ただし、通信速度は遅くなります。
以下の手順で、暗号化通信の設定をします。

ポイント

- EasyMP動作中（画面が切り替わったり、無線LANカードのアクセスランプが緑色に点灯中など）は、電源ケーブルを抜かないでください。
- 無線 LAN カードのアクセスランプが緑色に点灯しているときや、ネットワーク接続中は、無線 LAN カードを取り出さないでください。無線 LAN カードが壊れることがあります。
- 有線LANカードのアクセスランプについては、ご使用の有線LANカードの『取扱説明書』をご覧ください。

操作

1 アクセスポイントモードで、プロジェクターとコンピュータの接続設定をします。☛『セットアップガイド』

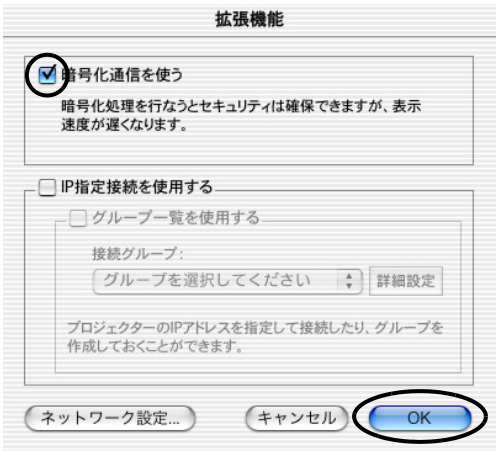
2 EMP NS Connection をインストールしたハードディスクボリュームから「アプリケーション」フォルダをダブルクリックし、EMP NS Connection アイコンをダブルクリックします。
EMP NS Connection が起動します。

ポイント

インストール時に EMP NS Connection のインストール先を変更した場合は、そのインストール先にある EMP NS Connection のアイコンをダブルクリックします。

3 次の画面で、「拡張機能」ボタンをクリックします。

4 拡張機能画面が表示されます。「暗号化通信を使う」をクリックしてチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックします。



5 接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンをクリックします。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。このとき、コンピュータとプロジェクターの間でデータを暗号化して通信しています。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

ESSID	ESS とは Extended Service Set（拡張サービスセット）の略です。ESSID は、無線 LAN の環境で相手と接続するための識別データです。ESSID が一致している機器どうしで無線通信できます。 Macintosh では、“コンピューターとコンピュータ”ネットワークで表示されるネットワーク名に ESSID を使用します。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを認識するための数字のことです。
アドホックモード	無線 LAN の接続方式の 1 つで、アクセスポイントを介さずに無線 LAN クライアント同士で通信する方式です。
チャンネル	同じ周波数を使用して無線通信する機器が多いと、通信速度が低下します。その場合、無線 LAN ネットワークごとに無線チャンネルを設定することで、他の無線 LAN の干渉を避けることができます。

索引

アルファベット

E ズーム 11,13
IP 指定接続モード 16
PC 系ソース切替 12

アイウエオ

明るさ 14
暗号化 31
カラーモード 14
基本設定 12,14
グループ 21
コントラスト 14
静止 11
接続状況画面 11
接続台数 10
切断 15
対応解像度 9
台形補正 14
ツールバーの使い方 11
ビデオ系ソース切替 12
表示色 10
プロジェクター操作 URL 表示 11
ミュート 11

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Windows、WindowsNT は米国マイクロソフト社の商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright © 1988-1997 Sam Leffler and Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。

© セイコーエプソン株式会社　2003